



国指定重要無形民俗文化財 黒川能「水焰の能」

黒川能は黒川の鎮守、春日神社の神事能として、500年以上にわたり、すべて氏子たちの手で受け継がれてきた国指定重要無形民俗文化財です。「水焰の能」は7月の最終土曜日に櫛引総合運動公園内の特設水上野外ステージで、かがり火の中、幻想的に上演します。「水焰の能」は故郷の豊かな稔りと人々の招福息災を祈るものです。「水面に映し出される能楽」と「かがり火のゆらめき」が能役者の洗練された能舞と融合し、見る者を幻想的な世界に誘います。番組は能と狂言の構成で、黒川能上座、下座が1年ごとに交互に出演します。(問い合わせは鶴岡市櫛引庁舎産業建設課まで。)



総会後の理事会では、佐藤友行会長、進藤亭、佐藤一良、伊藤みよ子、松田正彦副会長を再任し、五十嵐久廣副会長を新任しました。

来賓祝辞では米倉俊勝鶴岡税務署長、荒木泰子山形県庄内総合支庁長、皆川治鶴岡市長より祝辞を賜りました。

任期満了に伴う役員改選の件は、理事三四名、監事三名を選任しました。任期は令和九年の定時総会までの二年間です。

また報告事項として①令和六年度事業報告、②令和七年度事業計画、③令和七年度収支予算が承認されました。

第三号議案

任期満了に伴う役員改選の件は、理事三四名、監事三名を選任しました。任期は令和九年の定時総会までの二年間です。

また報告事項として①令和六年度事業報告、②令和七年度事業計画、③令和七年度収支予算が承認されました。

第二号議案

諸規程改定の件は、会費見直しと外部監事導入に関する規程改定について、満場一致で承認可決されました。

第一号議案

令和六年度収支決算報告承認の件は、満場一致で承認可決されました。

総会の主な内容は次の通りです。

第十三回定時総会は正会員数九五五名中、正会員六七名、委任状五一三名、計五八〇名が出席し、五月二八日午後四時よりグランドエル・サンで開催されました。

第13回定時総会開催

第 1 号議案 令和 6 年度収支決算報告承認の件

正味財産増減計算書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度 A	前年度 B	増減 C (A - B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	101	100	1
基本財産運用益	123	5	118
特定資産運用益			
受取会費	7,416,400	7,489,000	△ 72,600
事業収益	946,000	636,200	309,800
研修事業収益	307,000	260,200	46,800
会員親睦事業収益	639,000	376,000	263,000
受取補助金等	6,446,400	6,500,200	△ 53,800
受取県連補助金	250,000	250,000	0
全法連補助振替	6,196,400	6,250,200	△ 53,800
受取負担金	1,400,600	1,041,000	359,600
部会負担金	695,000	685,000	10,000
受取負担金	705,600	356,000	349,600
雑収益	43,732	1,150,540	△ 1,106,808
経常収益計	16,253,356	16,817,045	△ 563,689
(2) 経常費用	12,822,862	13,737,313	△ 914,451
給料手当	5,308,449	5,309,109	△ 660
退職給付費用	167,713	120,000	47,713
福利厚生費	524,744	501,900	22,844
会議費	1,150,680	844,747	305,933
旅交通費	595,565	1,153,186	△ 557,621
通信運搬費	813,673	725,632	88,041
消耗品費	278,957	268,409	10,548
印刷製本費	586,162	766,519	△ 180,357
賃借料	1,243,136	1,290,000	△ 46,864
諸謝金	548,151	632,963	△ 84,812
支払負担金	226,050	335,150	△ 109,100
会場料	442,570	444,480	△ 1,910
新聞図書費	117,422	150,080	△ 32,658
広告宣伝費	157,300	309,300	△ 152,000
一括入料	135,892	147,500	△ 11,608
支払手数料	296,269	379,014	△ 82,745
雑費	12,641	9,325	3,316
光熱水料費	118,092	121,129	△ 3,037
什器備品費	0	34,500	△ 34,500
委託費	99,396	194,370	△ 94,974
管理費	3,549,731	3,545,014	4,717
給料手当	1,277,717	1,281,144	△ 3,427
退職給付費用	40,367	64,080	△ 23,713
福利厚生費	126,303	111,085	15,218
会議費	808,313	620,269	188,044
旅交通費	236,844	315,745	△ 78,901
通信運搬費	163,852	185,819	△ 21,967
消耗品費	20,065	70,201	△ 50,136
印刷製本費	63,340	102,519	△ 39,179
賃借料	299,217	249,223	49,994
支払負担金	194,400	297,740	△ 103,340
渉外慶弔費	99,334	55,234	44,100
一括入料	32,708	28,000	4,708
支払手数料	32,968	49,889	△ 16,921
雑費	22,016	0	22,016
光熱水料費	28,424	39,725	△ 11,301
什器備品費	0	20,478	△ 20,478
支払委託金	50,000	0	50,000
委託費	53,863	53,863	0
経常費用計	16,372,593	17,282,327	△ 909,734
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 119,237	△ 465,282	346,045
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 119,237	△ 465,282	346,045
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 119,237	△ 465,282	346,045
一般正味財産期首残高	10,298,037	10,763,319	△ 465,282
一般正味財産期末残高	10,178,800	10,298,037	△ 119,237
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	5,826,400	5,724,200	102,200
一般正味財産への振替額	△ 5,826,400	△ 5,724,200	△ 102,200
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	10,178,800	10,298,037	△ 119,237

第2号議案 諸規定改定の件

(1) 会費規程改定（会費見直し）

鶴岡法人会は昭和27年に創設され、平成25年に公益社団法人に移行しました。平成25年3月に1,169だった会員数は年々減少し、令和6年12月には1,003会員まで減少しております。また減少に合わせて会費収入も大きく落ち込んでいます。これに対して費用についてはこれまでのデフレ経済の中では比較的安定してきましたが、令和4年より大幅な円安の進行や物価高騰により、法人会財政は一層逼迫しています。これまでも経費節減に努めてきましたが、大幅な収益改善は困難と判断され、総務委員会では、会員一律2,000円の引き上げが必要と判断し、令和7年4月18日開催の正副会長会議、4月24日開催の理事会において審議され、本定時総会において、満場一致にて承認可決されました。

公益社団法人鶴岡法人会会費規程

第2条 会費は、年額をもって定め、資本金又は出資金を基準として、下記の会費を納入しなければならない。

	資 本 金（出資金）	年 会 費	現 在
正 会 員	300万円未満	5,000円	3,000円
	300万円以上 500万円未満	7,000円	5,000円
	500万円以上 1,000万円未満	9,000円	7,000円
	1,000万円以上 2,000万円未満	11,000円	9,000円
	2,000万円以上 3,000万円未満	14,000円	12,000円
	3,000万円以上 5,000万円未満	17,000円	15,000円
	5,000万円以上 1億円未満	22,000円	20,000円
	1億円以上 3億円未満	32,000円	30,000円
	3億円以上	42,000円	40,000円
賛助会員	—	5,000円	3,000円

2 本店が管轄外に所在する管内の事業所の会費は、年額3,000～10,000円の範囲で、本店資本金による年会費の半額とする。

3 会員は、事業年度中途において、資本金又は出資金に異動が生じた場合その旨を本会に報告し、会費が増減する場合は、翌年度より適用することとする。

※施行日は令和8年4月1日とする。

(2) 「役員等の選任及び退任に関する規程」

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（公益認定法）は自律的ガバナンスの充実や行政手続きの簡素化、財務規律の柔軟化等をポイントとした公益法人制度改革が実施され、令和7年4月1日に施行されました。外部監事の導入については自律的ガバナンス強化策として監事の一人を外部監事として選任する必要があります。外部監事の要件は、就任前10年間に当法人会の理事・使用人でない者、かつ当法人会の正会員企業の役員・従業員でない者と定められています。

公益認定法の改正に則り、外部監事を導入すべく、「役員等の選任及び退任に関する規定」第3条の2を次の通り改定することを満場一致にて承認可決されました。

「役員等の選任及び退任に関する規定」第3条に下記の通り第2項を追記する。

（選任基準）

第3条 2 監事のうち少なくとも一人以上は外部監事とし、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律 第5条 第16号並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則 第5条 第1号及び同規則 第5条 第3号に掲げる者とする。

第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件

令和7年度 役員名簿

※新役員：理事数34名、監事数3名

役 職	氏 名	事業所名	役 職	氏 名	事業所名
会 長	佐 藤 友 行	㈱佐藤組	理 事	佐 藤 祐 司	鶴岡信用金庫
副会長	進 藤 享	(有)ウォーターシステム	"	佐々木 一 広	ライフプランニングサービス(同)
"	佐 藤 一 良	鯉川酒造㈱	"	伊 藤 久 美	まるい食品㈱
"	伊 藤 みよ子	㈱ひまわり	"	神 林 守	(有)フジ建機運輸
"	松 田 正 彦	㈱荘内銀行	"	小野寺 美千子	小野寺建設㈱
新副会長	五十嵐 久 廣	鶴岡建設㈱	"	渡 部 芳 幸	(有)アトリエイマジン
理 事	高 田 正 幸	㈱ユニオン	"	佐 藤 正 晴	㈱マルゴ
"	太 田 正 弘	太田産商㈱	"	秋 山 圭 子	秋山鉄工㈱
"	佐 藤 良 一	㈱狩川佐藤組	"	田 澤 繁	東北冷蔵製氷㈱
"	吉 野 隆 一	(有)木村屋	"	丹 治 真 彦	㈱渡会電気土木
"	相 沢 政 男	竹の露(資)	新理事	阿 部 豊	余目自動車工業㈱
"	佐 藤 恒 行	㈱三川佐藤工務店	新理事	大 森 義 一	ブレンスタッフ㈱
"	阿 部 廣 弥	阿部多不動産㈱	新理事	黒 澤 淳 一	きらやか銀行鶴岡中央支店
"	加 藤 省 二	㈱丸元建設	新理事	齋 藤 万喜子	㈱アマルメ工芸社 女性部会長
"	尾 形 泰 弘	㈱ソネット	新理事	阿 部 正 行	アベ装建(有) 青年部会長
"	阿 部 哲 久	阿部コンクリート㈱			
"	佐 藤 吉 一	㈱川尻モータース	監 事	原 田 洋	グレイス経営サポート(同)
"	佐 藤 雄 一	だいこく綿㈱	"	町 田 義 則	山形銀行鶴岡支店
"	佐 藤 正 晴	荘和設備工業㈱	外部監事	船 岡 千 晴	船岡千晴税理士事務所

令和7年度 委員会名簿

総務委員会

役 職	氏 名	事業所名
業務執行理事	松 田 正 彦	㈱荘内銀行
委 員 長	佐 藤 祐 司	鶴岡信用金庫
副委員長	佐 藤 雄 一	だいこく綿㈱
委 員	伊 藤 久 美	まるい食品㈱
"	田 澤 繁	東北冷蔵製氷㈱

組織委員会

業務執行理事	佐 藤 一 良	鯉川酒造㈱
委 員 長	佐 藤 正 晴	荘和設備工業㈱
副委員長	相 沢 政 男	竹の露(資)
委 員	神 林 守	(有)フジ建機運輸
"	秋 山 圭 子	秋山鉄工㈱
"	阿 部 正 行	アベ装建(有)
"	佐 藤 多 恵	㈱佐藤組 女性部会
"	佐 藤 友 昭	Life Arx ㈱ 青年部会
"	池 田 拡 弥	㈱アイケー 青年部会

厚生委員会

業務執行理事	伊 藤 みよ子	㈱ひまわり
委 員 長	阿 部 廣 弥	阿部多不動産㈱
副委員長	佐 藤 良 一	㈱狩川佐藤組
委 員	佐 藤 正 晴	㈱マルゴ
"	佐 藤 吉 一	㈱川尻モータース
"	齋 藤 万喜子	㈱アマルメ工芸社 女性部会

税制委員会

役 職	氏 名	事業所名
業務執行理事	五十嵐 久 廣	鶴岡建設㈱
委 員 長	高 田 正 幸	㈱ユニオン
副委員長	阿 部 哲 久	阿部コンクリート㈱
委 員	佐々木 一 広	ライフプランニングサービス(同)
"	黒 澤 淳 一	きらやか銀行鶴岡中央支店
"	小野寺 美千子	小野寺建設㈱
"	丹 治 真 彦	㈱渡会電気土木

研修委員会

業務執行理事	進 藤 享	(有)ウォーターシステム
委 員 長	尾 形 泰 弘	㈱ソネット
副委員長	渡 部 芳 幸	(有)アトリエイマジン
委 員	太 田 正 弘	太田産商㈱
"	大 森 義 一	ブレンスタッフ㈱
"	阿 部 豊	余目自動車工業㈱
"	松 田 和 佳	㈱エルム 女性部会

広報委員会

業務執行理事	進 藤 享	(有)ウォーターシステム
委 員 長	吉 野 隆 一	(有)木村屋
副委員長	佐 藤 恒 行	㈱三川佐藤工務店
委 員	加 藤 省 二	㈱丸元建設
"	早 坂 裕 子	(資)早坂食品 女性部会
"	青 柳 康一郎	鶴岡飲料㈱ 青年部会

令和 7 年度収支予算書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	当年度(R 7 年度)	前年度(R 6 年度)	増 減	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経 常 収 益				
基本財産運用益	5,000	400	4,600	基本財産預金利息
特定財産運用益	700	200	500	特定資産預金利息
受 取 会 費	7,350,000	7,500,000	△ 150,000	受取年会費
事 業 収 益	700,000	600,000	100,000	
研修事業収益	300,000	300,000	0	研修会等参加費
会員親睦事業収益	400,000	300,000	100,000	会員親睦参加費
受取補助金等	6,474,700	6,426,400	48,300	
全法連補助金収入	6,124,700	6,176,400	△ 51,700	全法連公益事業補助金
県連補助金収入	350,000	250,000	100,000	県法連補助金
受 取 負 担 金	1,600,000	1,200,000	400,000	
部会負担金	700,000	700,000	0	青年部会・女性部会年会費
受取負担金	900,000	500,000	400,000	総会等交流会費
雑 収 益	100,000	100,000	0	お祝等
[経常収益計]	16,230,400	15,827,000	403,400	
(2) 経 常 費 用				
事 業 費	12,855,000	12,560,000	295,000	
給 料 手 当	5,330,000	5,330,000	0	給料手当
退 職 給 付 費	145,000	138,000	7,000	退職金掛金
福 利 厚 生 費	500,000	500,000	0	法定福利費
会 議 費	700,000	700,000	0	部会会議費用等
旅 費 交 通 費	850,000	650,000	200,000	全法連関連事業参加旅費
通 信 運 搬 費	700,000	640,000	60,000	研修案内等郵送料・通信費等
消 耗 品 費	170,000	200,000	△ 30,000	事業用消耗品費
什 器 備 品	20,000	30,000	△ 10,000	事業所備品等
印 刷 製 本 費	540,000	540,000	0	会報印刷・チラシ印刷代等
賃 借 料	1,300,000	1,300,000	0	事務所賃借料等
光 熱 水 料 費	120,000	120,000	0	事務所光熱費
諸 謝 金	600,000	900,000	△ 300,000	研修会講師謝金
支 払 負 担 金	400,000	400,000	0	他団体協賛事業負担金等
委 託 費	360,000	110,000	250,000	HP更新・サーバー管理料等
会 場 料	350,000	300,000	50,000	会議・研修会等会場料
新 聞 図 書 費	120,000	120,000	0	新聞・書籍等
広 告 宣 伝 費	250,000	200,000	50,000	新聞広告等・税のカレンダー
リ ー ス 料	160,000	142,000	18,000	○ A 機器リース料
支 払 手 数 料	230,000	230,000	0	振替手数料等
雑 費	10,000	10,000	0	その他費用
管 理 費	3,375,400	3,267,000	108,400	
給 料 手 当	1,280,000	1,250,000	30,000	給料手当
退 職 給 付 費	87,000	74,000	13,000	退職金掛金
福 利 厚 生 費	110,000	110,000	0	法定福利費
会 議 費	600,000	550,000	50,000	理事会・総会費用
旅 費 交 通 費	270,000	270,000	0	県連東北連等出張旅費
通 信 運 搬 費	130,000	120,000	10,000	通信費等
消 耗 品 費	50,000	70,000	△ 20,000	事務用消耗品
什 器 備 品	10,000	20,000	△ 10,000	事務所備品等
印 刷 製 本 費	100,000	100,000	0	封筒印刷等
賃 借 料	260,000	260,000	0	事務所賃借料等
光 熱 水 料 費	40,000	40,000	0	事務所光熱費
支 払 負 担 金	200,000	200,000	0	県連他会議研修会負担金
委 託 費	80,000	65,000	15,000	会計ソフト使用料等
渉 外 慶 弔 費	60,000	60,000	0	慶弔費、交際費等
リ ー ス 料	41,600	20,000	21,600	○ A 機器リース料
支 払 手 数 料	46,800	48,000	△ 1,200	振替手数料等
雑 費	10,000	10,000	0	その他費用
支 払 寄 付 金	0	0	0	寄付金
[経常費用計]	16,230,400	15,827,000	403,400	
当期経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
[経常外収益計]	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
[経常外費用計]	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	5,774,700	5,826,400	△ 51,700	
一般正味財産への振替額	△ 5,774,700	△ 5,826,400	51,700	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

令和 7 年度事業計画

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

I. 基本理念

法人会は税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である。

II. 活動基本方針

企業経営の健全な発展及び地域社会貢献事業を行う団体として、正しい納税申告と税の普及活動をより充実させ、地域経済と地域社会全般を視野に活動を行うことを基本とする。

III. 事業活動項目

1. 税務知識の普及と納税意識の高揚

- ① 税のオピニオンリーダーとして、誤りのない税務知識の普及のため税務に関する説明会、講習会を開催する。
- ② 税務に関する調査研究並びにアンケート調査による税制改正事項を探り、公平な税制の確立のための要望事項の取り纏めを行う。
- ③ 正しい納税申告と地域の発展に寄与するため、税の広報活動の一環として、小学生の租税教室並びに税の絵はがきコンクールを行う。

2. 税の普及活動と税務行政への協力

- ① 法人税・消費税など国を支える税金が正しく申告・納税されるよう、自主申告納税制度の質的向上と納税意識の高揚を図る。
- ② 国税電子申告・納税システム(e-Tax)及び地方税電子申告システム(eL-TAX)の普及のため、電子申告開始届の提出及び利用拡大に協力する。
- ③ 税務行政の円滑な執行に協力するため、税制改正の周知、決算書作成のための実務セミナーの開催など「正しい税知識」の普及を図る。
- ④ 税務当局が行っている「税のしくみ」の広報を行い、税の普及活動に協力する。
- ⑤ 東北税理士会鶴岡支部の協力のもと、「税務相談」事業を開催し、「税知識」の向上に寄与する。
- ⑥ 全国の法人会が要望し、公益財団法人全国法人会総連合が取り纏める税制改正要望事項の早期実現を求め、行政への提言活動を行う。

3. 企業経営・地域貢献事業の充実、強化

- ① 地域経済の発展を目指し、健全な企業経営のための事業を開催する。
- ② 時代の変化に対応し新常態にも適応した形式で経営戦略を学ぶセミナーや企業を支える人材育成セミナーを開催する。
- ③ 当会のホームページを利用したインターネットセミナー視聴の推進を図る。
- ④ 多くの会員企業が参画し、地域の文化活動などに寄与する地域社会貢献事業に取り組む。

4. 組織の充実と会員サービス事業

- ① 組織の充実を図るために、会員増強を推進する。
- ② 青年部会・女性部会の活動を支援し、法人会活動の充実を目指す。
- ③ 会員企業の福利厚生制度の充実のため、法人会が実施している福利厚生制度（経営者大型総合保障・ビジネスガード・がん保険）を積極的に推進する。
- ④ 法人会活動の趣旨に適う、会員サービスの充実を図る。

各事業については開催の都度、HPに掲載します。

<http://www.trho.or.jp>

青年部会

青年部会会員会議

四月二十三日(水)

グランドエル・サン

松田正彦副会長を来賓にお迎えして令和七年会員会議を開催しました。

恩田健次部会長が議長を務めて令和六年度事業報告と収支決算、任期満了に伴う役員改選、令和七年度事業計画と収支予算、すべて議案通りに満場一致で承認され、令和七年度は阿部正行新部会長をはじめとする役員メンバーでスタートする運びとなりました。



阿部正行新部会長

令和7年度 青年部会役員名簿

役職	氏名	事業所名
部会長	阿部 正行	アベ装建(有)
副部会長	佐藤 友昭	Life Arx (株)
"	青柳康一郎	鶴岡飲料(株)
"	池田 拓弥	(株)アイケー
運営専務	伊藤 暁生	(株)ひまわり
幹事	阿部 新吾	(有)リベラル
"	大矢 貴幸	(株)オオヤ
"	岡崎 雅也	(株)岡ざき
"	後藤 久美	(株)システムコントロール
"	金野 隆行	(株)ARROWS
"	佐藤 勝隆	(有)日本海重機建設
"	佐藤 剛	ブレンスタッフ(株)
"	佐藤 淳一	(株)シンアイ
"	富樫 正人	TMKプロモーション(株)
"	樋口 郷志	(株)尾形ホーム



層の協力をお願いし会議を終了しました。

ビジネス研修会

二月二十五日(火)

グランドエル・サン

今回のビジネス研修は「SNSの活用術」と題して、初代山形ベストインフルエンサーの「なつちゃんママ」こと伊藤なつみ氏を講師に迎えて開催しました。

インスタグラムやフェイスブック、YouTubeなどを利用してPRを行い、集客効果を狙う手法は、職種は違ってもどの業種にも効果はあるということで、部会員一同聞き入っていました。また実際に動



画を撮影して簡単に編集する方法などを学ぶことができました。

租 税 教 室

青年部会では地域社会貢献活動の一つとして小学6年生を対象に税のことを知り、考え、学ぶ授業を実施しています。部会員が講師を務める子ども達参加型の授業は大変好評を得ていて、令和7年度もすでに多数依頼がきています。5月から6月までの授業の様子です。



5/1 上郷小



5/2 朝陽4小 6-1



5/2 朝陽4小 6-2



5/2 朝陽4小 6-3



5/12 鼠ヶ関小



5/13 櫛引東小



5/14 押切小



5/15 大山小 6-1



5/15 大山小 6-2



5/16 大泉小



5/19 広瀬小



5/22 余目2小



5/29 京田小



6/10 羽黒小



6/11 斎小



6/13 余目3小



6/16 朝陽6小 6-1・6-2



6/16 朝陽6小 6-3・6-4



6/20 横山小



6/23 藤島小



《令和6年度実績》

19校 21回
児童数444名



6/24 櫛引西小



6/25 豊浦小

令和7年度 女性部会役員名簿

役 職	氏 名	事 業 所 名
部会長	齋藤万喜子	(株)アマルメ工芸社
副部会長	早坂 裕子	(資)早坂食品
"	松田 和佳	(株)エルム
"	佐藤 多恵	(株)佐藤組
幹 事	秋山 圭子	秋山鉄工(株)
"	伊藤 久美	まるい食品(株)
"	小野寺美千子	小野寺建設(株)
"	川上 澄子	(有)川上鉄工所
"	高橋 悦子	(株)鶴岡光学
"	高橋 舞	(株)大栄
"	原田 周子	(有)マルハ産業



齋藤万喜子新部会長

満了に伴う
役員改選、
令和七年度
事業計画と
収支予算、
すべて議案

新緑の美しい日本庭園が臨める新茶屋にて、米倉俊勝鶴岡税務署長と太齋道統括国税調査官、佐藤友行人会長を来賓にお招きして、令和七年会員会議を開催しました。

五月二十日(火)
新茶屋

女性部会会員会議



通りに可決承認されました。
新年度は齋藤万喜子新部会長のものと活動をスタートすることとなりました。記念講演では、米倉鶴岡税務署長による「租税教育について」と題して講話をいただきました。



地域社会貢献事業

タオル寄贈



6/9 山水園さんへ



6/19 デイサービスセンター西目さんへ

3/12 情報交換交流会



6/13 米沢法人会女性部の皆さんと



コラム

細やかな経営で計る 事業タイミング

ジャーナリスト 海部 隆太郎

「経営はタイミングだ。ではない。遅くてもいい。タイミングを見誤ると事業の成功確率は極端に低下する」——かつて著名な経営者から会うたびに聞かされたフレーズだ。失敗談を分析して自分に言い聞かせているかのようだった。

いわく、斬新な技術・サービスをどのように市場投入するか、その時期が適切なのかを判断するのは難しい。市場環境が整う前であれば投資額に見合う収益が得られず、疲弊したところにキャッチアップした競合他社が出て、逆に追いかける展開になってしまう。何事も早ければいいというもの

ではない。遅くてもいい。混雑したパーキングで駐車スペースを探していると、通り過ぎたら空きがで、そこに後続車が入ってしまった。あと数十秒遅く来たら駐車できたのにと悔しい思いをするが、タイミングが悪いと諦めるしかない。経営とは次元の違う話だが、人生すべてタイミングが大

事。ただ、どうすれば最適なタイミングを得られるのか、それが分かれば苦労はない。「神頼み」と安易な考え方はしたくない。

招くのではないか。焦るから悔しい思いをする。経営では獅子が獲物を狙うがごとく、時代背景・市場環境を注視し社内体制を考慮して決断する。はやる気持ちで冷静に見つめる努力でタイミングを計ればいい。そのためにはバランス感覚が必須だと前述の経営者は指摘していた。抽象的にしか書けないのが残念だ。

経営者こそ細君になれ

とある団体の会報誌を読んでいたら、退任する役員が細君（妻）のおかげで職務を全うできたと書いてあった。中学生時代に夏目漱石の小説で細君という言葉を知った。その表現に懐かしさを感じ今の自分に置き換えてみると、誤解を恐れずに言えば、若い時とは異なり細くない妻を細君とは

言いにくいと感じた。不適切な表現だが説明に必要だと思いついて文字にした。

言いたいのは、容姿ではなく細かい気遣いをしてくれるから細君という。現代に当てはめると妻を指す言葉だけではいけない。男女ともに必要な要素だから。

こう考えると経営者こそ細君になるべきだと思う。野球に例えれば、投手は若手社員、中堅社員が守備を固め、経営者は捕手に徹する。全体を俯瞰し、野手に適切な指示を出し打者の傾向を勘案しながら投手にき

わどい球種を求める。大切なのはメンバーの才能を見極め、ポジションを任せきること。もちろん責任は経営者がとる。これを分かってもらえれば、バランスの良いチームとなることは間違いない。細やかさは、箸の上げ下げを言うのでは

ない。人が動きやすいように環境の変化に合わせる対応のことだと思う。

こうした経営者に社員は集まってくる。理想論だと思わずに自社の強さと弱さを分析してみること。それを力バーするのは小手先の戦術ではなく、会社という組織を支える社員への配慮と気持ちよく働ける社内環境だと思う。適材適所という表現もあるが、内閣改造で使われる常とう句として定着しているので、これは使いたくない。

【筆者紹介】

海部隆太郎（かいべ・りゅうたろう）全国紙記者、IT企業を経てフリー。中小企業を中心に幅広い課題を取材し講演・執筆活動を展開する。

受賞おめでとうございます

長年にわたり法人会の事業運営にご尽力いただいている方々に、表彰状と記念品が贈呈されました。



東北六県法人会連合会 会長表彰
副会長 伊藤みよ子 様
(株式会社ひまわり)



山形県法人会連合会 会長表彰
理事 佐藤 雄一 様
(だいこく綿株式会社)



山形県法人会連合会 会長表彰
事務職員 成澤 ルミ 様
(鶴岡法人会事務局)

令和6年度新入会員名簿

(令和6年4月～令和7年3月末)

正会員（事業所）

(入会順 敬称略)

事業所名	代表者名	住 所	業 種	紹介者(支部)
相澤建設(株)	相澤 貴洋	鶴岡市切添町 3-17	建設業	A I G (鶴)
(株)尾形ホーム	樋口 郷志	鶴岡市美原町 4-36	建築業	青年部会 (鶴)
(株)サリバテック	砂村 眞琴	鶴岡市覚岸寺水上 246-2	学術サービス業	松田副会長(鶴)
(株)京栄建設	佐藤 仁吉	鶴岡市小京田高田 11-2	建設業	事務局 (鶴)
Nフロンティア(株)	金野 隆行	鶴岡市宝田 2-1-52	自動車販売業	大同生命 (鶴)
(株)F・A・I・N	齋藤 弘之	鶴岡市小中島赤沼 67-2	販売業	青年部会 (藤)
(株)工藤	工藤 規行	鶴岡市上藤島鎧田畑 32-1	小売業	大同生命 (藤)
マツバ化成(株)	鈴木 智	鶴岡市添川新地 105-2	製造業	町田監事 (藤)
(株)エムズクリエイト	今野 麻子	鶴岡市日出 2-10-20	建設業	原田監事 (鶴)

賛助会員（事業所）

事業所名	代表者名	住 所	業 種	紹介者(支部)
中村石屋	中村 興一	鶴岡市大宝寺日本国 393-1	石材業	青年部会 (鶴)
真砂子屋	佐藤 信一	鶴岡市湯野浜 1-19-16	旅館業	A I G (鶴)

仲間を募集しています！！ 皆様ご紹介お願いします！！

鶴岡税務署からのお知らせ

人事異動

(2025.7.10 発令)

○転出者

署長 米倉 俊勝 (仙台局 酒税課長)
 総務課長 泉 健一 (福島署 特別調査官 (所得税等))
 管理運営部門統括官 佐々木新市 (長井署 総務課長)
 徴収部門統括官 池田 勉 (十和田署 徴収部門統括官)
 個人課税第一部門統括官 鈴木 勇一 (仙台南署 個人課税第一部門統括官)
 法人課税部門統括官 太齋 道 (郡山署 国際税務専門官 (法人税等))

○転入者

署長 和田 光靖 (仙台局 統括査察官)
 総務課長 志藤 賢一 (寒河江署 総務課長)
 管理運営部門統括官 佐藤 和洋 (新庄署 管理徴収部門統括官)
 徴収部門統括官 高橋 朋也 (鶴岡署 徴収部門上席調査官)
 個人課税第一部門統括官 行田 義和 (仙台局 業務センター主任管理官)
 法人課税部門統括官 田中 幸彦 (鶴岡署 法人課税部門上席調査官)

はじめよう キャッシュレス納付

【使うと便利！キャッシュレス納付のメリット】

- ☑ 自宅やオフィスから納付可能！
- ☑ PCやスマホで簡単手続き！
- ☑ 現金管理の効率化！



国税



(国税庁 国税の納付手続)

地方税



(eLTAX 共通納税)



好きな時間に
好きな場所で
お支払い!!

私たちは、キャッシュレス納付の一層の普及を推進しています 🍒



令和7年5月29日「山形県キャッシュレス納付推進共同宣言式」

山形県キャッシュレス納付推進協議会(事務局:山形県・山形銀行・山形税務署)

※共同宣言式には、一般社団法人山形県法人会連合会も参加しています。

鶴岡法人会よりインターネットセミナーのご案内

鶴岡法人会のホームページから無料でセミナーがご覧いただけます

<http://www.trho.or.jp>

鶴岡法人会

検索で検索いただけます

視聴は無料です

※ 画面はイメージとなります。

ログインIDとパスワードを入力してログインしてください

ログインID: ●●●●●● パスワード: ●●●●●●

ログイン

会員は専用IDとパスワードを入れてログインする事により多くのコンテンツが視聴可能となります。

ID・パスワードは

会員ID: **hj1711** パスワード: **8160**

会員の方は700タイトル以上のセミナーが無料で受講できます



科捜研ってどんなところ？



法科学研究所代表取締役
雨宮 正欣



海外旅行のトラブル事例と対策



社会保険労務士 / 危機管理コンサルタント
田邊 良学



満席講座のつくりかた



満席講座プロデューサー / SNS集客コンサルタント
加藤 あい

	セミナー名	講師	分数		セミナー名	講師	分数
研修・人材育成	世代間ギャップを チームの「強み」に変える！ 公開期限：2025年6月末まで	前川 由希子	75分	一般経営	ミッショントーク 自社の魅力の 上手な伝え方 ～後編（実務編）～	福永 雅文	46分
	【管理職研修】 向上と信頼が生む成果	山下 大輔	45分		江戸最大のヒットメーカー 篇屋重三郎に学ぶ経営戦略	岡田 晃	36分
	“フェムテック”を理解して 多様な組織作り役立てる	木川 誠子	23分		乱世の時代における 孫子の兵法とビジネス戦略	守屋 淳	34分
	自ら考え、動き出す 今どきの若手の育て方	石田 祐一郎	65分		コミュニティ経営のすすめ（6） 多様な働き方のルール	畑中 義雄	32分
法律	労働問題で足をすくわれない 経営を目指して	米澤 章吾	61分	環境	日本から、「憎しみの連鎖」を ほどこいていく挑戦	山崎 琢磨	40分
ライフスタイル	NEW 将来の不安をスッキリ解消！ 一生役立つお金の知識	加藤 博	52分	税務・財務	経理担当者向け 経理入門 公開期限：2025年7月末まで	小池 俊	80分
	長唄から知る日本の美	小塚 希帆	28分		基礎からわかる「インボイス制度の 概要と電子帳簿保存法のポイント」 令和5年度制度改正 対応版	川口 宏之	107分
	知れば知るほど美味しくなる すしの話	小川 洋利	41分	労務	NEW 2025 改正労働法のポイント 公開期限：2025年7月末まで	恵島 美王子	70分
	どうすいトリビア（6） 相撲字・番付表	田中 知子	6分		NEW 会社と従業員を守る 「トラベルリスクマネジメント」	田邊 良学	40分

掲載講師やタイトルは変更になる場合がございます。
掲載されているタイトルは、ご覧いただけるものの一部です。

お問い合わせは鶴岡法人会事務局まで **TEL:0235-22-8160**